

■子供や女性、高齢者を守るために、高齢協・デイ協が県警と協定締結



千葉県高齢者福祉施設協会（田邊会長）及び千葉県デイサービスセンター協会（井上会長）と千葉県警察本部（延澤生活安全部長）は、令和元年8月1日、子供や女性、高齢者に緊急時の駆け込み場所を提供するなど、安全・安心を守るために相互に連携する協定を結びました。

千葉県高齢者福祉施設協会の会員事業所は、「みんなの110番の家」となり、入口などに「110番の家プレート」を掲げ、子供や女性、高齢者などが何らかのトラブルにあったときに駆け込める場所を提供します。

千葉県デイサービスセンター協会の会員事業所は、デイサービスの送迎車両に「地域防犯パトロール中」のマグネットを貼付し、通学路などで送迎車両の中から子どもたちの安全を見守ります。

これは、両協会が千葉県警察と連携し、社会的弱者の犯罪被害を減少させるための取組みを、社会福祉法人の責務である地域貢献活動として実施するものです。

会員の皆様の御協力をお願いいたします。